

こころに吹く風は…<カウンセリングルーム便り>

4月12日より、浅間台幼稚園でも新しい生活がスタートしました。ある年少さんのクラスでずっと泣き続けていたA君。「ママがいいよお〜」「ママと一緒にじゃないから、何にもできなあい。」と泣いていました。ママから離れての初日、心は不安でいっぱいだったのでしょうか。ママのお迎えには満面の笑顔で応えていました。



PHP 出版から毎月出される「のびのび子育て」の3月号に、ここ数年間浅間台幼稚園の「子育て講座」で講師としてお世話になっている坂本州子先生が今回も執筆されていました。特集は「打たれ強い子にするために」。先生は、アドラー学派の子育て論者として、必要なのは「自信と勇気」であると、伝えてくれています。大切な3つの勇気づけ

① 子どもの失敗を認める。

⇒ 失敗を認めるとは、「失敗は成功のもと」ととらえること。子どもは失敗することで、どうすればよいかを学び、知恵が生まれます。

② 子どもの長所・能力を認める。

⇒ 長所・能力を認めるとは、できることに目を向けること。誰もが長所や独特な個性を持っています。その個性を引き出し、伸ばすことが大切です。

③ 子どもの気持ち・考えを理解する。

⇒ 気持ちや考えを理解するとは、子どもの心の中に沸き起こっている考えや感情を言葉にすること。親が思う言葉でも、子どもの表面上の言葉でもありません。

を提示して、さらに「勇気づけて困難を乗り越えられる子に」と語ります。いまの世の中、何が起るかわかりません。子どもが辛い出来事に出会ったとしても、「自信と勇気」があれば逆境を乗り越えていくことができます。そのために大切なことは、親は子どもを勇気づけることです。「勇気づけ」は、「ほめる・励ます」ことではありません。常に子どもの側に立ち、子どもの気持ちや考えに沿った言葉かけをすることで、子どもの内的発達を促すことをいいます。それによって子どもは打たれ強く、責任ある行動をとることができるようになります。(のびのび子育て3月号 坂本州子先生文章より抜粋 PHP 出版)

本年度も9月・10月・11月と坂本先生に保護者向け「子育て講座」をお願いしてあります。具体的な場面での「勇気づけの対応」を教えてください。どうぞお楽しみに。<奮ってご参加ください。>

尚、子育てカウンセリングも毎週木曜日に鈴木由美子（臨床心理士）が行っております。

どうぞお気軽にご予約ください。

—— カウンセリングを受けたいのですが…」 と、どなたでもどんな悩みでも一緒に考えていきましょう。

子育てカウンセリング予約先 (TEL 048-774-1046 木曜日の午前・午後対応)